

《決定版》

ソフトボール競技は、東信地区の1チームを含め、「東北信大会」として開催する。

☆出場予定チーム：計7チーム（順不同：中学校3校 クラブ4チーム）
中学校：①篠ノ井西中学校 ②篠ノ井東中学校 ③小諸東中学校
クラブチーム：④NEVEWS ⑤川中島ソフトボールクラブ
⑥若穂ソフトボールクラブ ⑦信濃ドリームスター

I. 主催 北信地区中学校体育連盟

II. 共催 北信地区各市町村教育委員会

III. 主管 北信地区中学校体育連盟 ソフトボール専門部
長野県ソフトボール協会北信支部

IV. 会期 令和6年6月15日(土)16日(日) 予備日：6月22日(土)23日(日)
1日目：監督会議のみ・開会式なし → 9:00第1試合開始
2日目：監督会議 → 9:00第1試合開始 → 閉会式なし

*雨天時は、1日ずつ順延になる場合もある。

*表彰式は行わないが、表彰は行う。2日目の順位決定後、又は最終試合終了後に該当チーム(上位3チーム)を表彰する。場所は該当チームの最終コートとするが適宜変更あり)

V. 会場・役員

会場	長野市 若穂中央公園運動場（2面：A/B） 長野市 若穂中学校校庭（1面：C） <予備日：同会場>		
期日	6月15日(土)	6月16日(日)	予備日
本部長	保科 潔 (篠ノ井西中学校長)	片山 ますみ (若穂中学校長)	左記担当がスライドして行う
救護員	競技部対応	宮崎 音羽(柔道整復師会)	競技部対応
競技委員長	黒田 芳人(篠ノ井西)		
競技委員	中学校：水本 弾(高社)・原澤 徹(裾花)・阿部 聖紀(川中島) 児玉 太平(篠ノ井東)・櫻井 文晃(小諸東) クラブチーム：若穂クラブ・信濃ドリームスターから1名ずつとする		
審判長・審判員	長野県ソフトボール協会 北信支部 審判長 及 審判員		
記録長・記録員	長野県ソフトボール協会 北信支部 記録長 及 記録員		
記録報告	黒田 芳人(篠ノ井西)		
生徒役員	参加校ソフトボール部員		

*2日目救護員の紹介

宮崎 音羽 先生 (公社)長野県柔道整復師会 北信支部会員
<中野市 よしだ鍼灸整骨院>

VI. 日程・組み合わせ

1 日程

開場	6:30(開場前にはグラウンドに入らない)
監督会議	7:45(2日間とも行う)
競技開始	*開始時間は前倒しとする。ただし連続になる場合は考慮する。
	<1日目> <2日目>
第1試合	9:00 / 9:00
第2試合	11:00 / 11:00
第3試合	13:00 / 13:00
第4試合	15:00 / 15:00
競技終了予定	16:30 / 16:30

- *1 試合は3コートで進行する。各コート同時進行で進める。
Aコート：若穂中央公園テニスコート側
Bコート：同 若穂中学校側
Cコート：若穂中学校校庭
- *2 オダー表は、試合開始30分前、又は、前の試合の4回終了時まで提出する。(試合展開では3回・4回・5回コートがあるため、注意する。)
- *3 第2試合以降の試合開始時間は前倒しで進めるが、連続で試合を行うチーム、コート移動のチームがあるので、試合間隔を考慮する。前の試合終了後30分後に次の試合のコイントスができるように進めたい。その後、フィールドイング、試合開始とする。また、先攻後攻の選択については、監督会議で確認する。
- *4 1日目に、各出場校は、来場後に参加料と使用球代を提出する。封筒に入れること。また、参加料は請求書・領収書を準備すること。北信中体連HPd参照。
 - ・参加料は1人500円。使用球代は1チーム2,550円。
- *5 2日間とも第1試合のチームは会場に到着しだい、ベンチ入りをしてよい。試合前のアップは該当試合コートの外野側で行ってもよい。
- *6 試合は、全試合7イニングまたは80分とし、タイブレークは行わない。80分経過時に最終バッター宣告制で進める。
- *7 試合前のフィールドイングは、両日各コートの1回目の試合前のみとする。コートが移動した時は行ってよい(行う・行わないはチームの判断とする。チームから審判員に伝える。)
- *8 用具点検は、各コートの1回目の試合のみとする。コートが移動した場合は、用具点検を受ける。審判員は用具点検を行う。
- *9 大会本部はAコートバックネット裏とし、監督会議はAコートバックネット前で行う。
- *10 外野ネットは設置しない。ホームランラインと マーカー + ボールで対応する。本塁とホームランラインまでの距離は61mとする。
- *11 給水タイムは次のように設定する。
 - ①2回ウラ終了時 ②4回ウラ終了時
 - *1 時間は3～5分間とし、試合時間には含まない。
 - *2 給水タイムは作戦等のタイムとは異なるため、ベンチ内は選手のみとする。指導者(大人)は、各ベンチに近いコチャボックスで時間を過ごす。ただし、体調面に関わる場合は適宜対応する。

- * 12 グラウンド整美は、フィールドイングバックの後と試合終了後に、必ず、確実に
 に行く。できるだけ短時間で行う。
- * 13 すべてのチームは、自チームの試合終了後に会場で練習をすること
 はなしとする。試合終了後は早めに帰ってもよい。
- * 14 各コートの第1試合のチームは会場作りを行う。最終試合のチームは
 会場片付けを行う。
- * 15 生徒役員については、試合のないチームが1チームだけという運営と
 各チームの所属選手数を考慮し、配置しない。可能なチームは自チ
 ームの試合で生徒役員を行う。よって、次のように行う。
 - 1) 試合中のボール回収は各ベンチの選手が行い、バックネット裏の審判員に
 届ける。
 - 2) 得点記入・審判員へのボール配給は、審判員の協力で行う。該当試
 合の選手は、自チームに影響のない範囲で協力する。
 - 3) グラウンド整美について
 - ① 速やかに、必ず行う。
 - ② 試合終了後は、コートを移動しないチームの選手が行う
 - ③ フィールドイング終了後は、両チームで行う。

2 組み合わせ 出場校は7校のため、次のように進める。

☆7チーム総当たりリーグ戦を行い、順位を決定する。(1チーム6試合、総計21試合)

【組み合わせ決定理由は、北信中体連HPに明記あり】

☆出場チーム：計7チーム（順不同：中学校3校 クラブ4チーム）

中学校：①篠ノ井西中学校 ②篠ノ井東中学校 ③小諸東中学校

クラブチーム：④NEVEWS ⑤川中島ソフトボールクラブ(川中島SC)

⑥若穂ソフトボールクラブ(若穂SC) ⑦信濃ドリームスター(信濃DS)

《コート割》*中央P：若穂中央公園運動場

【A】-ト:中央P テニスコート側 【B】-ト:中央P 若穂中側 【C】-ト:若穂中学校 校庭】

《試合川順（組み合わせ）》

(1)1日目(6/15)

	①9:00	②11:00	③13:00	④15:00
A	若穂SC—NEVEWS	若穂SC—川中島SC	篠西—川中島SC	篠西—信濃DS
B	篠東—信濃DS	NEVEWS—信濃DS	-----	若穂SC—小諸東
C	小諸東—篠西	小諸東—篠東	-----	NEVEWS—篠東

(2)2日目(6/16)

	①9:00	②11:00	③13:00	④15:00
A	NEVEWS—篠西	若穂SC—篠西	若穂SC—信濃DS	-----
B	小諸東—信濃DS	小諸東—NEVEWS	小諸東—川中島SC	NEVEWS—川中島SC
C	篠東—川中島SC	信濃DS—川中島SC	篠東—篠西	篠東—若穂SC

《リーグ戦表》

	若穂 SC	NEVIEWS	小諸東	篠西	篠東	信濃 DS	川中島 SC	勝ち点	①総失点 ②得失点差 ③失点	順位
若穂										
NV										
小諸東										
篠西										
篠東										
信濃										
川中島										

【順位決定について】

*1 順位決定については、次のようにする。

- ①勝ち点制を採用。勝ち点の多いチームが上位となる
(勝利：勝ち点2 引き分け：勝ち点1 敗退：勝ち点0)
- ②勝ち点と同じ場合は当該チーム同士の試合で勝った方を優位とする。
- ③②で決定できない時(対戦が引き分けだった場合)は、次の優位性で判断する。
 - ア)総失点の小さい方が優位。
 - イ)得失点差の大きい方が優位。
 - ウ)失点の少ない方が優位。

【確認】

*1 県大会へは、順位決定後、上位6チームが出場する。

*2 対戦表の左側のチームを1塁側ベンチとするが、試合毎のベンチの入れ替えは行わない為に、この事が適用されない場合もある。

*3 ベンチ交換は、希望のあった場合はしてもよい。ただし相手チームと審判団の同意を得た場合のみとする。

Ⅶ. 競技規則及び申し合わせ事項

<参加規定>

- (1)中学校の部活動のチームの選手は当該校の在籍生徒とする。合同チームについては、条件を満たしている場合において規定の手続きを経た上で出場を認める。クラブチームの場合は、条件を満たした上で参加を認める。
- (2)1チームの編成は、引率責任者1名、監督1名、J-チ1名、選手18名以内の計21名以内とする。
- (3)監督・J-チの何れかは、引率責任者を兼ねてもよい。

(4)チーム登録は次の点に留意する。

- ①中学校チームの参加校の引率者・監督は当該校の校長・教員・部活動指導員※1とする。部活動指導員が引率・監督を務める場合は、「参加申込書」の監督者及び引率者の欄に必要事項を記入する。なお、部活動指導員は、他校の引率者及び依頼監督にはなれない。
※1 ここでいう「部活動指導員」は学校教育法施行規則第78条の2に示されている者をいう。以下同じ。
- ②クラブチームは、申し込み時に所定の用紙を使用してチーム登録を行う。
- ③本連盟が主催する大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は、部活動・クラブ活動の指導中における暴力・体罰・セハラ等により、任命権者・学校設置者・クラブチーム責任者から懲戒処分を受けていない者であること。なお、中学校チームの外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。(左記については別に定める対応に準拠する)
- ③スコアラーがベンチ入りする場合は、当該チームの部員・クラブ員(中学生)であり、登録メンバーの一員であること。
- ④中学校チームのコーチは、学校長の認めた者であれば外部コーチも認める。その際には所定の用紙を使用し、届け出をする。なお、外部コーチについては上記②に適する者とする。更に下記の条件をみたしている必要がある。
 - i)当該チームの監督の補佐として指導を中心とし大会運営には関与しない。
 - ii)学校教育の一環として行われる大会の趣旨を十分に理解し、教育的な言動や行動をとる。
 - iii)大会運営上問題が生じた場合や条件を逸脱する言動があった場合は、大会本部の指示に従う。

<競技規定>

- (1)2024年度野球・ソフトボールルールに準じる。
- (2)使用球はゴム検定3号、使用バットは検定3号バットとする。
- (3)監督及びコーチは、選手と同じユニフォームを着用する。引率責任者は平服でもよい。
- (4)ユニフォームにはユニフォームNo.をつける。監督は30番、コーチは31番又は32番、選手は1番～99番とし、主将は10番とする。なお、チーム事情により、選手・監督及びコーチのユニフォームがそろわない場合は、ユニフォームNo.を正しく着用すれば大会への出場及びベンチ入りを認める。帽子についても統一されてなくてもよい。
- (5)試合は次のように進める。
 - ①7イングまたは80分とし、タイブレーカーは行わない。
 - ②2日間ともコールドゲームはオフィシャルルールを適用する。
- (6)規則適用上の疑義の申し出は、監督とする。ただし、審判の正確性に関する抗議はできない。
- (7)打順表(オーダー用紙)は野球の打順表を使用する。ベンチ入り登録選手の全員の記入等、必要事項を全て記入する。

<大会規約>

- (1)雨の場合には順延する。
- (2)ベンチ入りは、最多で計21名とする。引率責任者1名、監督1名、コーチ1名、選手18名以内の計21名(スコアラーを含む)とする。スコアラーも選手と同じユニフォームを着用する。
- (3)ベンチの使い分けは、別記あり。
- (4)日没又は降雨によるコールドゲームは5回以後成立するものとする。
- (5)一時停止試合(サスペンデッドゲーム)を採用する。試合再開時に審判員が変わることはあり得る。
- (6)試合前のウォーミングは、登録メンバー(18名以内)で行う。

- (7)攻守交替は、投手を含む全員がスピーディーに行う。
(8)リナーコーチは登録選手が行うものとする。
(9)ベンチや応援席からの審判や相手チームに対する聞き苦しい暴言等は厳重に慎む。
試合に影響のある応援や指示と判断される場合は、競技部が指導を行う場合もある。

<表彰>

- (1)表彰は上位3チームを対象とし、賞状を授与する。優勝チームには優勝盾を授与する。

<その他>

- ①雨天時の対応について
- ・前日夕方18:00 又は 当日朝5:00に専門委員長より出場校と関係各位に連絡する。
 - ・大会は予備日の6月22日(土)23日(日)に行う。予備日が両日とも雨天等で実施不可の場合は、北信中体連本部と専門部が協議の上、日時・会場を決定し実施する。
- ②申し込みについて
- ・所定の参加申込書等で、次のように行う。中学校チームが外部コーチを登録する場合は、所定の用紙を提出する。

提出先 専門委員長 黒田 芳人(篠ノ井西中学校)
*提出期限 5月31日(金)

- ③申し込み後の選手の変更、追加及び背番号の変更は、基本的に認めない。
④選手宣誓：本年度はなし
⑤各チームの部員は、生徒役員として試合の補助をする。ただし、部員数によって不都合がある場合は、各校の理解の上、調整する。
⑥フラット、諸旗、旗棹の準備は、開閉会式を行わないため、各チームの判断でよい。
⑦参加チームの所属者(中学生)は、全員参加料を納める。登録選手(ベンチ入り選手)に限らず、所属者全員とする。参加料は1人500円とし、当日集金とする。
⑧プログラムは、競技部で作成する。
⑨試合会場内(ホームライン内)には、応援の観戦者(保護者等)が入らないこととする。ホームライン外での練習時は、保護者等が入ってもよい。
⑩雷対策として、試合中に雷が鳴った場合は、直ちに試合を中断し、安全な場所に避難させる。その後の競技再開等については、本部長・専門委員・救護・審判で協議して判断する。
⑪頭部打撲対応について
- ※ 原則、医療機関を受診する。受診後は医師の指示に従う。
 - (1)頭部への外傷が見られた場面で一度プレーを止め、会場責任者・顧問(監督)・救護で選手の様子を確認し、状況の把握をする。
 - (2)必ず該当選手の保護者と連絡をとり、状況説明を含め、一緒にどのような対応をとるか相談する。(原則、保護者が来場し、直接確認する。)
 - (3)その内容をもとに大会責任者が競技の続行か中止の判断を行う。競技を行う場合は、顧問はじめ該当選手の動きを注視する。競技を中止する場合は受診を勧める。
- ⑫問い合わせ
篠ノ井西中学校 黒田 芳人(北信中体連ソフトボール競技 専門委員長)
<連絡先>勤務先 電話 026-292-0244
FAX 026-292-7880

< 応援・観戦等に関する注意事項 >

学校教育活動の一環である「中学生の大会」であることを前提に、中学生を含め、応援者 及び 観戦者の方々には、以下のことについて、ご理解とご協力をお願いいたします。

- (1)ベンチや応援席からの審判や相手チームに対する暴言は厳重に慎む。試合進行に影響のある応援、不必要な指示と大会本部が判断した場合は、改善指導を行う場合がある。マナー面においても同様の対応をする。
- (2)ベンチと応援席の区別について

本大会の競技場は、ベンチと応援席を明確にするため、以下のとおり対応する。

- ①応援席は1塁・3塁の各ベースより外野側とする。
- ②ベンチの後ろ及びベンチからバックネット側の位置に応援者が入り込まないものとする。(準備、片付け時も含む。)
- ③試合中の撮影については、バックネット裏からの撮影(画像・動画等)は禁止する。また、撮影された個人を特定できる画像や動画を許可なくインターネット上に投稿することは法律で禁止されているので行わない。

- (3)鳴り物を使用した応援は禁止とする。
- (4)その他、中体連本部からの連絡事項を遵守する。

上記(1)～(4)を守れない場合は、観戦席での観戦・応援をご遠慮して頂くこともある。